

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年7月9日(木) 15:00～16:40
- 3 開催場所 多治見高等学校 大会議室
開催にあたり、委員による桔梗祭(文化祭)見学を実施した

4 参加者

向井 貴彦	岐阜大学地域科学部教授
内垣 理沙	育友会副会長
大野 雄一	JR東海多治見駅首席助役
小口 英二	一般社団法人多治見市観光協会COO
田口 直佳	「やくならマグカップも」原作ディレクター
村松 敦子	多治見市養正交流センター長
山内 英之亮	多治見市役所企画部企画政策課課長代理
山本 将寛	多治見青年会議所理事長(欠席)

学 校 側	堀 裕邦	校長
	川原 正史	教頭
	大野 和司	事務長
	山中 徹也	教務主任
	石田 春彦	進路指導部長
	八橋 想	生徒指導部長
	鈴木 貴博	特別活動部長
	丸山 真	保健厚生・渉外部長
	高木 佑菜	記録

5 会議の概要(協議事項)

(1) 校長挨拶

(2) 学校からの説明

- ①スクール・ミッション、スクール・ポリシー、学校教育目標について
- ②本校の置かれている状況と課題について
- ③教育指導の重点及び学校経営計画について
- ④各分掌の取り組みについて

(3) 学校運営協議会委員からの御意見・御感想等

- ①生徒の状況について

②学校運営について

③本校の将来像を考えるための提言（本校に求めるもの）等

（４）諸連絡

①学校評価アンケートについて

②学校が企画する小学生向けイベントについて

桔梗祭（文化祭）見学、及び学校経営計画の承認を得た後、学校からの説明を踏まえ、委員から（３）に関して意見を得た。

- 意見１： 部活動が縮小傾向にある。部を統廃合することは生徒の活動機会が奪われることにもなる。複数の部に所属し、時期により活動する部を変えていくような仕組みがあるとよい。
- 意見２： 多治見SDGsコンテストで多治見高校の生徒がファイナリストに選ばれた。はつらつとした姿で感銘を受けた。中学生が見学できる機会があるとよい刺激にもなる。
- 意見３： 中学生に向けての学校説明がわかりやすい。入学した生徒の満足度は高い。本校には入学してからではないと実感できない魅力がたくさんある。その魅力を入学前の生徒に伝達していける方途があるとよい。
- 意見４： 探究活動の３ステップが生徒の実態に合っており、進路とのマッチングもわかりやすい。
- 意見５： 卒業後の活動、活躍の場が内向きの傾向にある。地域外へも積極的に進学していけるとよい。
- 意見６： 活動を外へ発信していくのは難しい。Instagram を利用しての広報は熱意は伝わるものの、他にもやり方を模索するのがよい。他の学校との差別化も必要である。
- 意見７： バランスが良い学校であることが魅力の一つであるが、一方で突出したところがなく中途半端な印象がある。探究活動に特化したクラスを作るなど、他校にはない新しい強みを作るとよい。
- 意見８： 本校の卒業生の多くが地域に貢献している。そういった情報も発信していけるとよい。
- 意見９： 東濃地区における今後の生徒数の減少は顕著であり、今後が懸念される。具体的な理由については不明であるが、私立高校の人気の高い傾向にある。実践を参考にするのもよい。
- 意見１０： 中学生向けの情報発信は、以前と比べて大幅に魅力的なものになっている。以前参観した探究発表会も素晴らしいものであった。地域に広く見てもらう機会があるとよい。

６ 会議のまとめ

第１回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。また、本校の社会的役割や存在意義に関する貴重な意見をうかがった。これらを今後の学校運営に活かしていきたい。